

中学2年 社会（歴史的分野） 4単位

使用教材	『新しい社会 歴史的分野』（東京書籍）
試験・評価・課題等	予習として、教科書を読んでもくる。授業では、教科書の内容を理解する。配布されたプリントを完成させる。授業では電子黒板などを利用し、生徒に興味・関心を持たせながら、時代像をつかむ。

学習計画

期間	学習項目	指導上のポイント(レギュラークラス)	指導上のポイント(アドバンストクラス)	
一学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の古代文明 ・縄文時代・弥生時代 ・大和時代 ・奈良時代 ・平安時代初期 桓武天皇の政治と社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「四大文明」の特色を挿絵や写真からつかむ。 ・聖徳太子の政治が何を目指していたのかを、東アジアの情勢とかかわらせて理解する。 ・大化の改新から律令国家の確立に至るまでの経過のあらましを東アジアの情勢と関わらせて理解する。 ・平城京について調べ、天皇・貴族の力の大きさや中国の影響について考察する。 ・平安遷都の理由・意義や、平安時代初めの政治の特色について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギリシャ・ローマの政治・社会・文化の特色を代表的人物の生き方を学びながら、とらえる。 ・中国の文献などから原始・古代の日本の姿を探る。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ・平安時代中後期 ・鎌倉時代 ・南北朝時代・室町時代 	<ul style="list-style-type: none"> ・系図などの資料から、藤原氏が勢力を強めていった過程を読み取る。 ・武士が成長していった理由を、荘園と公領からなる新しい土地制度や政治の動きとの関連から考察する。 ・武士のおこりと成長から武家政権の成立までの経過について理解する。 ・「北条政子のうったえ」などから朝廷と幕府の勢力関係、将軍と御家人の関係を考察する。 ・農業技術や手工業・商業の発達による生活の向上がもたらした社会の変化について考える。 ・権限を持った守護が守護大名となり、後の政治に影響を及ぼすことに気づく。 ・戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の風潮から考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画資料から、モンゴル軍の特徴を読み取る。 ・鎌倉時代の武士の生活の様子を、絵巻物や文書資料などを通して理解する。

二 学 期	中 間	<ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパ世界・イスラム世界・近世ヨーロッパ世界の成立 ・戦国時代 ・江戸時代 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパ世界の特色をカール大帝の戴冠のエピソードからつかむ。 ・イスラム教の成立、宗教の特徴、その広がり過程を理解する。イスラム世界がヨーロッパに及ぼした影響を理解する。ルネサンス、宗教改革の動きのあらましを理解し、その知識を身に付ける。 ・織田信長と豊臣秀吉の統一事業の過程をその経済政策、宗教政策など関連させながら理解する。 ・江戸時代に確立した身分制度の中での差別が近代や現代にも残っていることを学ぶ。江戸幕府が17世紀の前半に外交政策を変化させて「鎖国」した理由を、禁教、外交関係と情報の統制、大名統制などから考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもな大名の配置」から幕府の大名統制の方法を読み取る。 ・幕府政治の改革が必要になった理由を、貨幣経済の広がりなどから考える。「百姓一揆・打ちこわしの発生件数」から社会の様子と変化を理解する。
	期 末	<ul style="list-style-type: none"> ・近代ヨーロッパ世界 ・ヨーロッパのアジア侵略 ・江戸時代後期 	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国が、近代革命を通して近代国家を形成していった過程を理解する。 ・産業革命を経て、産業や社会のしくみが大きく変化したことを多面的・多角的に考察する。 ・大塩平八郎が乱を起こした理由や天保の改革の内容を調べ、幕府政治が行き詰まっていたことについて考察する。 ・ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパのアジア侵略に対するアジア諸国の対応を、年表にまとめる。
三 学 期	期 末	<ul style="list-style-type: none"> ・明治時代 ・大正時代 ・世界恐慌 ・昭和時代 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動から憲法制定に至るまで、民権側と政府側の立場からそれぞれの主張を考察する。 ・日清戦争に至るまでの欧米諸国の植民地獲得競争を学び、東アジアの情勢を理解する。 ・日露戦争について、内外の対応を両面から考察する。 ・大戦後に高まった民主シーの動きを資料から読み取る。 ・世界恐慌の概要と、欧米諸国の対応について理解する。 ・ファシズムの問題点を、現代の社会や生活と関連させて、考えさせる。 ・戦争の被害の実態を通して、国民の苦しみについて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・軍部の主張や国民の生活を具体的に調べ、当時の状況から、日本の取るべき進路について考える。